



ブルネイ・ダルサラーム大学

Universiti Brunei Darussalam

●学部学生 約3,000人 ●大学院生 約770人 ●教員 約470人 ●留学生 約370人

ホームページ <http://www.ubd.edu.bn/>

交流協定締結年月日：2009年11月8日 主管学部：医学部



国際交流の特色

ブルネイ・ダルサラーム大学(UBD)は、1985年に設立された総合大学である。学位取得コースは、国民及び外国人に開かれていて、政府による奨学金制度(教科書や交通機関及び宿泊費)が、ブルネイ国民に授与されている。1989年に最初の卒業生を送り出し、現在のツング・リンクのキャンパスは、1995年9月に正式にオープンした。医学部では英語での、Problem Based Learning (PBL) を主体としたチュートリアル中心の基礎教育を3年間行い、その後3-4年は英国、カナダ、オーストラリアの各大学医学部に編入し、臨床教育を受けて医師免許を取得する。2009年には大学間協定が結ばれ、さらに医学部とブルネイ国保健省との国際協力協定が結ばれた。特に医学部では、本学医学部との双方向性の学生交流が積極的に行われ、実績が積まれている。

交流実績(令和3年度~令和5年度)

年度	R3	R4	R5
受入・派遣			
学生の受入	0	6	14
学生の派遣	0	4	7
研究者・職員の受入	0	0	4
研究者・職員の派遣	0	0	0
オンライン交流参加者(本学)	25	26	13
オンライン交流参加者(相手機関)	13	62	11



教員からの声

ブルネイ国はアジアでも最も英語能力が優れ、治安が良く、政治的、経済的にも安定したイスラム教王国です。UBD医学部では英国式医学教育としてProblem-Based Learningを実施しており、国際的な視野を持った医師の教育で顕著な効果を挙げています。2006年から医学部間で協定を結び、さらに全学協定に発展しました。UBDにおける夏季医学教育コースや課題実習、香川大学における冬季医学セミナーやディスカバリー・プログラム、さぬきプログラム等を介した相互派遣等、さらに交流を深め、将来アジアで活躍するリーダーの育成にとともに取り組んでいます。コロナ禍で人的な相互交流は一時停滞せざるを得なくなりました。しかし、遠隔での交流が継続する一方、令和4年度からは中期の研究インターンシップによる相互交流が開始されています。さらに令和5年度は2023年10月にUBDの学長先生を香川大学にお迎えする等、コロナ禍前と同様の交流事業が再開されつつあり、人的交流もさらに深化してきております。

医学部附属病院 准教授 安田真之

学生からの声

ブルネイ・ダルサラーム大学(UBD)と香川大学との医科学研究の単位互換制度を利用し、5週間UBDに留学し、医科学研究(基礎研究および医学科3年生の授業参加、国際交流)をさせていただきました。研究においては、Dr. Markの元で、C. elegans(線虫)を用いてハーブ(Annona muricata)による血糖降下作用の研究を行いました。また、医学科3年生の授業であるIPE、PBL、RIPAS(病院見学)、CCS(Airway, Respiratory, spine)、Lectureに参加しました。問診方法や気道確保の技術を実際にUBDの学生とペアになり議論をして理解を深めながら学ぶことができ、とても有意義でした。留学を通して、40th National DayやChinese new year、イフタルなどのかけがえのない経験をする事ができ、ブルネイの人々の生活や宗教、食文化など国際的な理解が深まりました。留学をサポートしていただいた先生方や学務の方々、UBDの先生方や学生などたくさんの方々に支えられて、今までの人生で最も濃く、学びに溢れた5週間を経験することができました。本当にありがとうございました。

医学科4年 宮下祐実